

石野教室だより 2月 4教室合同版 (学習塾・そろばん・書道・英会話)

連絡先 281-6780 (教室)

コロナも2類から5類に変更になるようで、マスクを外せるのも近いかもしれませんね

学習塾小学部からのお知らせ



わずか6歳で9歳分の「語彙力格差」があった

同じ年齢でも日本語の語彙力が非常に高い子どもと低い子どもがいます。

例えば、小学校に入学する直前の幼稚園の年長さんたち約200人の語彙力を調べたことがあります。

すると、6歳のお子さんで語彙力が一番高い子で、11歳レベルに匹敵するという子がいたんです。

この年齢の語彙力だと「礼儀」とか「銀河」「浴室」「選挙」などが理解できます。

一方で、2歳児並みという子もいました。

2歳児レベルですと、例えば「頭はどれ？」と聞いても、お人形を指せません。それから、「湯気はどれ？」と聞いてもヤカンから湯気が出ている絵を選べない。

同じように「封筒はどれ？」「切手はどれ？」、こういう質問に答えることができません。

わずか6歳までで、9歳分の幅がありました。

もう2歳ぐらいから、そろそろ差は出はじめています。

子どもの周りにいる保護者の話し方の特徴がお子さんに影響していると思われま



第1は、お子さんが一番身近にいる母親に話しかけた時の応答のタイミング。

例えば、ここにおもちや箱があったとします。

「クレヨンあった」って子どもが言った時に、「クレヨンあるねえ」。

「赤いクレヨンあった」「赤いクレヨンあるねえ」。

これは応答タイミングが早い場合です。

一方で、遅いお母さまもいて、「赤いクレヨンあった」って言っても知らんぷりで、雑誌を読んだり、鏡に向かってお化粧を直したりしている母親もいるわけです。

結論からいうと、応答タイミングが早いお母さまの子どもたちは語彙力も高くて発話量も多いですね。

第2の特徴としては、お母さまが子どもと話す時の時間、持続時間と呼びますが、それが短いほどお子さんが話す機会を増やします。

だから、たくさん、それも短く返事をしていくのが理想的なんです。

「ねえ、赤いクレヨンあった」と子どもさんが言うと、短く「赤いのあったね」と返し、お母さんが聞き役に回ると、子どもの発話が出やすいということがわかりました。

第3は、やはりお子さんに話しかける時はゆっくりと明瞭に発音することです。

やはり母親が明瞭に話していると、音は聞き取りやすいものですから、子どもの言語獲得も進んで語彙力も高い。

ですから、応答タイミングを早く、それから発話の持続時間は短く、そしてゆっくりと明瞭に話しかける。

これらの3つが基本なんです。

子どもの「語彙力格差」は母親との会話に原因がある 佐藤久美子・玉川大学大学院教授

指導者として長年見ていて、国語の得意な子は語彙力が高いというのは間違いないと感じております。

合格おめでとう！



広島なぎさ中学校 せいごくん (第一志望)

広島協創中学校・新庄中学校 たいらくん

今年も中学受験を通してひとりひとりさまざまなドラマがあり、私にとって貴重な体験を毎年させていただいております。毎年毎年本当に涙あり苦労あり、ストレスいっぱい寿命を縮めておりますが(笑)、どんなことがあっても子供を信じる必ずできるようになるとこの思いでやってきました。今年も小学生らしい良い受験ができたと思っています。6年生のみんななどこの学校に行っても頑張ってくれると信じています。

6年生が卒業しますので、若干名生徒さんを募集しております。遅くなると希望時間がとりにくくなりますので、入会を考えている方は早めにご連絡ください。

そろばん教室からのお知らせ

検定試験についてお知らせします。

検定練習は、珠算の技術向上を図る一つ的手段と考えます。何事も上達するには、目的や目標を持つことが、必要不可欠とおもいます。

当教室では、全珠連の2ヶ月に一度の検定試験を目標にし、練習をさせております。その為、検定試験をなるべく受けるよう話をしております。

しかし、生徒からは「まだ、合格できないからうけない」と言う言葉も返ってきます。その時は「合格する、しないも大事だが、その合格に向って、どれだけ努力するかが一番大事」だと指導しております。

検定試験を申込みと、やる気を起こして頑張ってくれます。

珠算・暗算検定試験は、決して無理におすすめする事ではありませんが、上記ご理解頂き受験する事をおすすめいたします。 ※検定試験は15級よりありますが、低学年では10級よりおすすめしております。

書道教室からのお知らせ



新しい年が始まりあっという間に一か月がたちました。

1月31日から2月5日まで県立美県立美術館で広島書道展の作品が展示されています。

ぜひ見に行ってみてほしいと思います。

県立美術館にいくと作品の多さにびっくりします。うちの生徒が会長賞をたくさんいただくので皆がもらえるのではない??と言われる。がその10倍くらいの方が出展しています。

作品を出すために授業が本当に空気が張り詰めるような緊張感の中でがんばっているんです。

今年も広島書道展があります。がんばりましょう。

またこの書道展の結果は中学・高校の内申に書くことができます。ぜひ今年は挑戦しましょうね。

毛筆を持ってくる日と持ってくる学年

2月6日	13日	20日	27日
3年	4・5年	2・6年	持って来てねと言った人

2月は昇段試験の練習をします。その人は上の表は無視してください

英会話教室からのお知らせ



英会話は、コトバの学習というだけではなく、コトバの背景を感じ、国際感覚を身につけたり、文化的な視野を広げてくれる現代人の「基本ツール」です。

最近生徒が「あーあ」とよく言っています。ため息ではなく納得したというような感じです。少しずつ解ってきていることを近くにいると感じます。子どもの成長はすごいですよ。一気に上手くなるわけでもない。どの習い事でも一度は親子で踏ん張ることも必要です。将来がんばれる人になれると思います。

英会話はこれからの受験に必要となってきます。文法とは違い会話はその場の雰囲気ですることができるのです。少しでも話せる場所が必要です。継続は力なりといえます。

幼稚園から中学生まで来た生徒がニュージーランドの高校へ行きました。そして帰国子女として名前は忘れたのですが有名な大学へ行きました。英語ができれば未来が開けますよ。

英会話の規約にもありますが3月末で退会される予定の方は1月中にお知らせください。

漢字検定について



漢字検定については2/12（日）に石野教室で行います。

時間については個別にメモ用紙をお月謝袋に入れております。

受験級などご確認の上、間違いなどございましたらご連絡をお願いします。

申し込んだのにメモ用紙が入っていない方もお手数をおかけしますがご連絡をお願いします。

なお教室生でない方には、ラインもしくはお電話でご連絡させていただいております。

漢検受験の書道の生徒さんは、月謝袋が遅くなりますのでラインでお知らせいたします。